

## 有限責任中間法人 大学知財管理・技術移転協議会第1回理事会議事録

1. 日時 平成16年9月30日 15時から16時
2. 場所 東京フォーラムG610室(東京都千代田区丸の内3-5-1)
3. 出席者 白井会長、尾坂副会長、勝田理事、荻野・長田理事代理、清水(啓)理事、徳永・石川理事代理、清水(勇)理事、下河邊理事、中江・井深理事代理、吉国理事、来代・飯田理事代理、森永理事、(平野オブザーバー・九州大学) 後藤理事、高橋・中塚理事代理、山本理事、小島理事、伊藤理事、真砂理事、正城・馬越理事代理、沖田・宮下理事代理、佐田理事(以上21人) 事務局 野尻オブザーバー 文科省研究推進・産学連携課技術移転室・伊藤室長、鈴木係長、経済産業省大学連携推進課 佐藤課長補佐、鈴木氏、田丸氏
4. 議事の経過の要領とその結果

勝田理事が仮議長として、議長席に就き、開会を宣した。文科省研究推進・産学連携課技術移転室・伊藤室長、経済産業省大学連携推進課・佐藤課長補佐に一言挨拶を求め、両名が簡単に当協議会の今後に期待する旨の挨拶を行った。

勝田議長は、事務局に本理事会の成立確認を求め、事務局は21人の出席があり、定足数を満たしているので、本理事会が有効に成立していることを報告した。

勝田議長は、尾坂理事、清水(勇)理事に議事録署名人となることを求め、両名の同意を得た。

### < 議事内容 >

#### 第1号議案 代表理事会長選任に関する件

勝田議長は、当法人の代表理事会長を選任したい旨を述べ、議場に代表理事会長候補の推薦を求めたところ、清水(勇)理事から、白井克彦理事を推薦する旨の発言があった。他に候補者の推薦はなかったので、勝田議長は、白井克彦理事を代表理事会長とする旨諮ったところ、満場一致で承認可決した。勝田議長は、白井代表理事会長に会長就任挨拶を求め、白井代表理事会長はこれに応じて、これまでの東工大の貢献を称えると共に、今後当協議会の発展に尽力する旨の挨拶を行った。

勝田議長はここで議長職を白井代表理事会長に交代する旨の発言を行い、議長席を降りた。

#### 第2号議案 代表理事副会長の選任の件

白井代表理事会長は議長席に着き、代表理事副会長の推薦を求めたところ、真砂理事から、白井議長に一任したいとの発言があり、一同これを承認したので、白井議長は次の者を代表理事副会長にそれぞれ指名し、その賛否を問うたところ満場一致でこれを承認可決した。なお、被選任者はそれぞれその就任を承諾した。

代表理事副会長 石川正俊<(国)東京大学>

代表理事副会長 大野豊<関西ティール・エル・オー(株)>

代表理事副会長 小寺山亘<(国)九州大学>

代表理事副会長 尾坂芳夫<(株)東北テクノアーチ>

白井議長の求めに応じ、代表理事副会長を代表し、尾坂同副会長が会長を補佐し当協議会の発展に尽くす旨挨拶を行った。

#### 第3号議案 事業計画及び予算の承継に関する件

前協議会の平成16年度事業及び予算をそのまま承継したいとの事務局提案に対して、新しい事業計画を作るべきとの意見が出たが、将来構想委員会との関係もあり、具体的見直しは行おうが、承継の方向性については、多数賛成により、原案どおり承認可決された。

#### 第4号議案 施行規則案に関する件

白井議長は、事務局に趣旨説明を求め、事務局は、法人化検討委員会で最低限の規則として決定された1条 会費、2条 委員会、3条 事務局の施行規則案を説明した。

- 1) 会費については、各種意見が出たが、次年度以降については見直しを行うこととし、本年度は、本案を承認することに決した。
- 2) 委員会規則に記載がある将来構想委員会において、事業計画がない点が指摘された。これに対して、時々将来問題を企画運営委員会と一緒に議論してきた経過があり、一応の役割を果たしたことが述べられた。そのうえ、白井議長は、代表理事副会長を加えた本委員会を置き次回理事会までに事業計画を立てることを提案し承認された。山本理事から、委員会名称変更の予定があること、11月に予定される具体的事業計画がある旨の発言があった。

以上の審議を経て、本議案は原案どおり承認可決された。

#### 第5号議案 事務局長の承認に関する件

白井議長から事務局長に、早稲田大学客員教授の野尻昭夫氏を選任したい旨の発言があり、満場一致で承認可決された。

#### その他

他に当理事会で決議を必要とする当面の諸問題についてはないことが確認された。

以上をもって本日の議事が終了したので、白井議長は閉会を宣した。

以上

議事録	署名人	代表理事会長	白井 克彦	印
	同	代表理事副会長	尾坂 芳夫	印
	同	理事	清水 勇	印